

お客様には安心してご愛用車にお乗りいただくため、ドライバー異常時対応システム (EDSS) についてお知らせします。

1 ドライバー異常時対応システム (EDSS:Emergency Driving Stop System) とは

EDSS は、ドライバーが意識を失うなどの異常が発生した際に、車内外へ異常事態を報知するとともに、車両の減速を行い停車させることができるシステムです。

車載カメラを使用してドライバーの顔の向きや姿勢、表情などを測定し、運転者の状況に応じて警報音や音声警報、メーターディスプレイ表示などで注意を促します。



2. EDSS が正常に作動しないとき

次のような場合は、ドライバーが継続走行可能な状態であっても、運転姿勢や表情によっては、システムがドライバーの異常と認識し、報知やブレーキを掛けることがあります。

- ・太陽光などの強い光がドライバーや車載カメラを照らしているとき
- ・ドライバーがメガネやマスク、眼帯、帽子、ヘルメット、タオルといった目や表情を隠すものを装着しているとき
- ・前のめり、うつむき、仰け反り、もたれなど運転姿勢が崩れたときなど (詳細は車両の取扱説明書をご参照ください)

● 次のような場合、ドライバーの状況を正確に認識できないため、システムが正常に作動しないことがあります。



- ・太陽光などの強い光が直接ドライバーや車載カメラを照らしているとき
- ・笑ったときやまぶしいときなど、目を細めたとき



- ・メガネやマスク、眼帯、帽子、ヘルメット、タオルといった目や表情を隠すものを装着しているとき



- ・赤外線を通しにくいサングラスを装着しているとき



- ・メーターなどの確認で伏し目になったとき
- ・前のめり、うつむき、仰け反り、もたれなど運転姿勢が崩れたとき



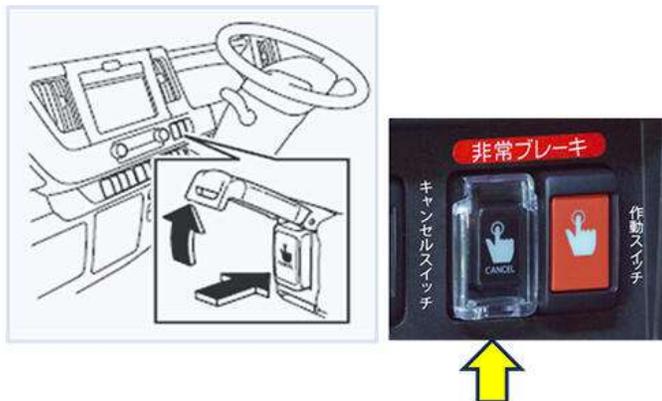
- ・ドライバーの頭が左または右に傾いている姿勢が継続しているとき
- ・上半身が左または右に傾き、顔も同方法に傾いている姿勢が継続しているとき

3. キャンセルスイッチについて

掲載の図は 23 型カゼットの代表例です。実際の仕様とは異なる場合がありますので、詳細は車両の取扱説明書をご確認ください。

EDSS 作動中にキャンセルスイッチを押すと、システムが解除されます。ドライバーが運転を継続できるにもかかわらず、作動した場合は、キャンセルスイッチを押すと通常走行を継続することができます。

車内報知、車外報知、ブレーキ作動は、キャンセル操作をするまで機能し続けます。



掲載の図は、23 型カゼットの代表例です。実際の仕様とは異なる場合がありますので、詳細は車両の取扱説明書をご確認ください。

4. システムのアップデートについて

運転姿勢の検出精度をさらに高めるため、システムを構成しているコントローラーならびにカメラの最新版ソフトウェアをリリースいたしました。

更新を希望されるお客様は、最寄りの UD トラックス販売会社にご連絡をお願いいたします。

▼対象車両

23 型カゼット	2024 年 4 月～2024 年 12 月生産
23 型コンドル	2024 年 1 月～2025 年 4 月生産

※上記範囲には対象とならない車両も含まれています。詳しくは最寄りの UD トラックス販売会社にお問い合わせをお願いいたします。

▼作業時間

23 型カゼット・23 型コンドル	約 1 時間
-------------------	--------

※諸準備や作業待ち、お車の仕様や状態によっては、更にお時間をいただく場合があります。

▼ご注意

- ・この度のソフトウェアのアップデートでは、健康起因などによりドライバーに異常が発生した際の機能はこれまで通りで変更はありません。
- ・なお、このアップデートにより制動が開始するまでの時間を延長しております。
- ・EDSS は、さまざまな条件によりその効果は変わります。そのため、常に最大の効果を発揮できるものではありません。システムを過信せず、安全運転、健康管理につとめてください。

以上